MITSUBISHI

1206875HD0202

レンジフードファン

形　名

V-754S　V-904S

優良住宅部品「BL」認定〈換気ユニットレンジ用フードファン〉

形　名

V-6027SL-BL　V-6027SSW-BL
V-6037SL-BL　V-6037S-BL　V-6037SSW-BL
V-6047SL-BL　V-6047S-BL　V-6047SSW-BL

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、この据付説明書をよくお読みください。
据付けは販売店・工事店様が実施してください。

■本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
■本製品の据付けにあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
■接続ダクトは φ 150 の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

もくじ　ページ

安全のために必ず守ること……2
据付け前のお願い……3
外形寸法図……4～5
据付方法……6～11
据付け後の確認……12

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しください。

優良住宅部品（BL）について

- 当社の定める据付要領を逸脱しない据付けに瑕疵が生じ、据付け者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングの BL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/) をご覧ください。

安全のために必ず守ること

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

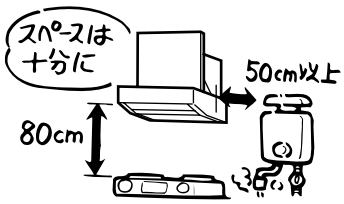
禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には据付けない** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。	指示に従う	**交流100Vを使用する** 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。
水ぬれ禁止	**直接水のかかる場所や湿気の多い場所には据付けない** 感電および故障の原因。		**製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように据付ける** 接続されていると漏電した場合火災の原因。
分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。		**自然排気型ストーブがある部屋に据付けるときは、部屋の空気取入れ口を設ける** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。
プラグを抜く	**ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 通電状態では感電の原因。		**包装用ポリ袋などは幼児の手の届かない所に廃棄または保管する** 幼児が頭からかぶると、窒息の原因。
アース確認	**アースを確実に取付ける** 故障や漏電した場合感電の原因。		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**浴室など湿気の多い場所では絶対に据付けない** 感電・故障の原因。	指示に従う	**電気工事・アース工事は電気工事士が行うこと** 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因。
	指定以外のランプを使用しない ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。		**部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがの原因。
接触禁止	**運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない** けがの原因。		**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
指示に従う	**本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。	プラグを抜く	**据付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
	据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。		

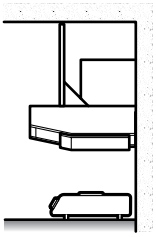
据付け前のお願い

下図の寸法を守る
（本体のフィルター下端から加熱機器までは 80 ㎝以上必要です）



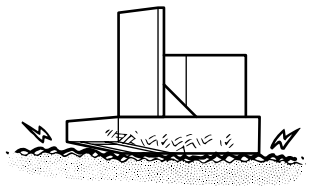
（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります）

●レンジフードファンは加熱機器よりも幅の広い物を選択してください。



●加熱機器からフィルター下面までの距離は 80 ㎝にできるだけ近い距離で据え付けてください。
（捕集性能が得られないことがあります）

コンクリートなど、傷のつきやすいもののうえには直接置かない



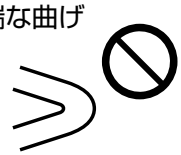
本体は水平に据付ける（前後・左右）
（羽根当たりや異音の原因になります）

ダクト工事

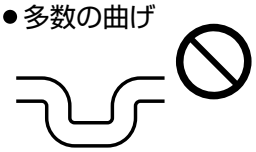
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつける。
先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。

●次のようなダクト工事はしない。（風量低下や異常音発生の原因になります）

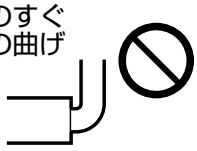
●極端な曲げ



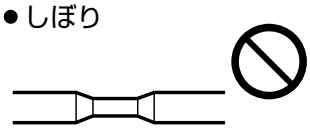
●多数の曲げ



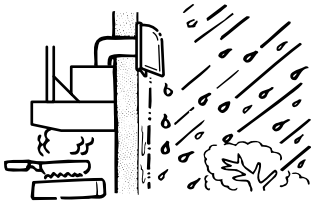
●吐出口のすぐそばでの曲げ



●しぼり



●システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。（製品性能が得られないことがあります）



排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

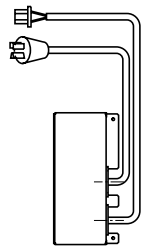
●鳥などの侵入防止にベントキャップ
●雨水の浸入防止に深形フード
●吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。
●屋外フードはメンテナンス（清掃・点検）できる場所に取付けてください。

●室内には専用の給気口を設けるようにしてください。
（扉の開閉が困難になったり、製品性能が得られないことがあります）

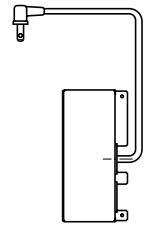
●風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。
（油煙等の漏れの原因となります）

外形寸法図

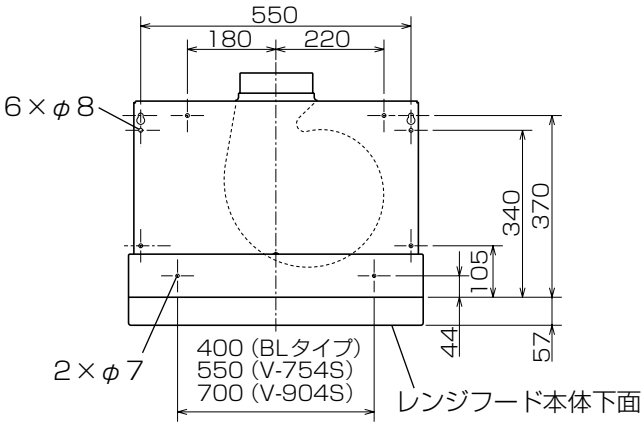
V-6037S-BL
V-6047S-BL

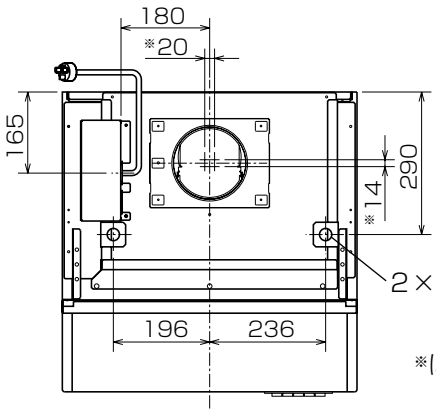


V-754S
V-904S



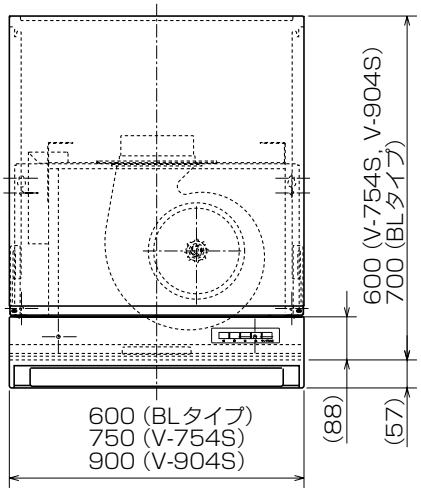
■本体固定位置

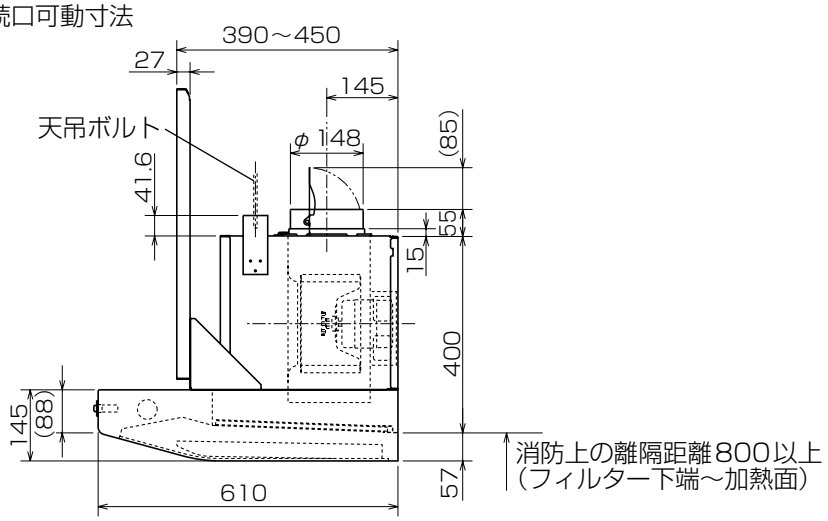




V-6027SL-BL
V-6027SSW-BL
V-6037SL-BL
V-6037SSW-BL
V-6047SL-BL
V-6047SSW-BL

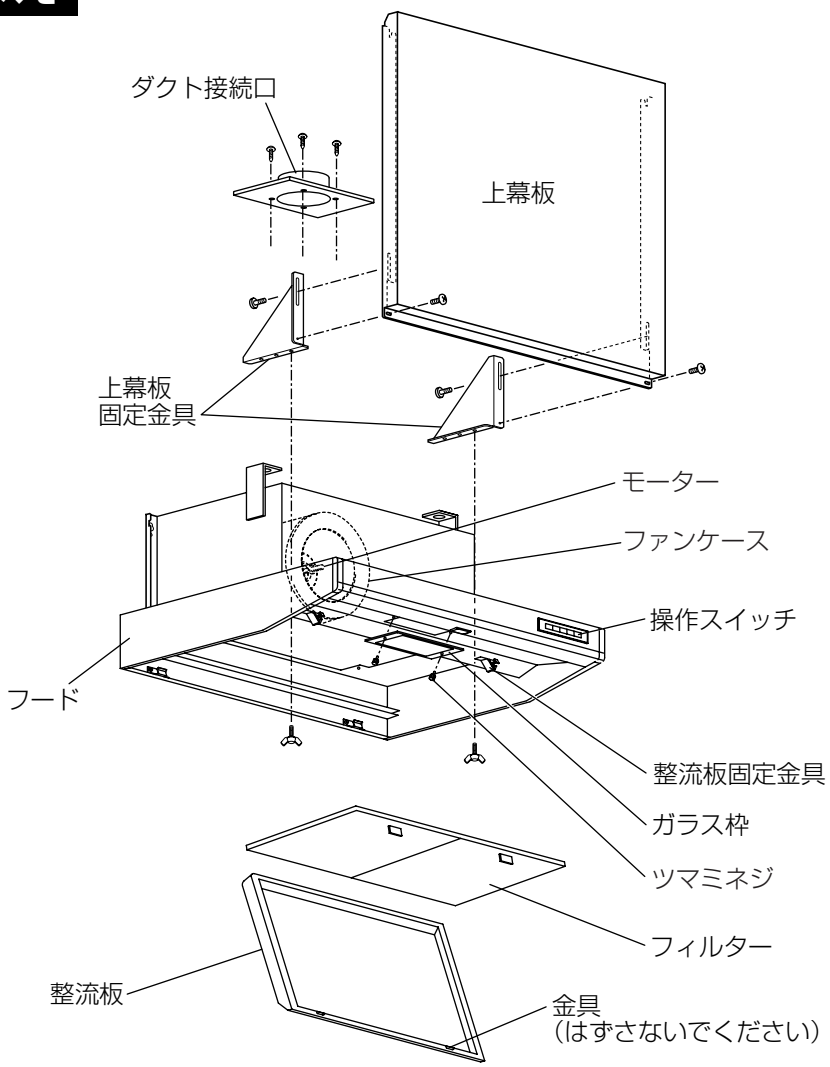
※はダクト接続口可動寸法





単位（㎜）

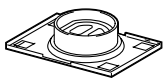
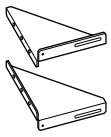
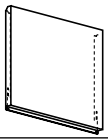
各部のなまえ



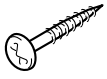
付属部品

●下記の付属部品があります。

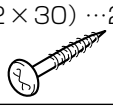
共通

ダクト接続口…1個 	上幕板固定金具…2個 	上幕板……1個 
角ワッシャー①…4個	角ワッシャー②…4個	チョウボルト…4本
特殊ワッシャー…4個	ゴムワッシャー…4個	天吊用ワッシャー (外径φ20 内径φ10) …4個

V-754S，V-904S 用

側板固定金具……2個 ※受注品の側板を取付ける場合に必要になります。	木ネジ (大) (6.2×32) …4本 	木ネジ (小) (4.1×25) …2本
ネジ……12本	ワッシャー①…2個 (外径φ23 内径φ6.5)	ワッシャー②…2個 (外径φ20 内径φ4.2)

BL タイプ

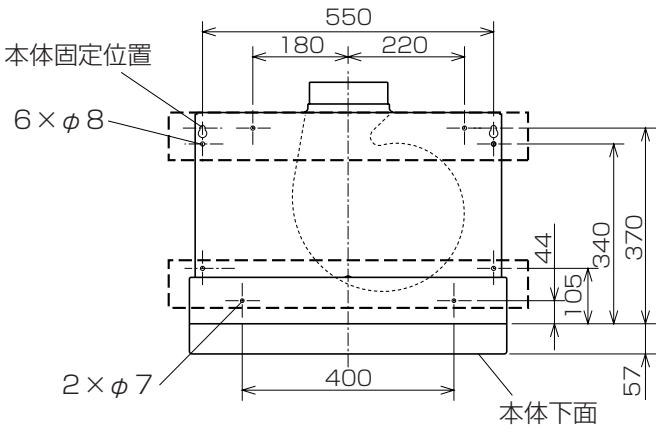
ネジ (4×8) …8本	木ネジ (大) (6.2×30) …2本 	木ネジ (小) (6×30) …4本
ワッシャー①…4個 (外径φ23 内径φ6.5)		

据付方法

本体の据付けには、天井据付けと壁据付けがあります。
この製品は上部直排方式となっていますので排気方向は後・左・右を自由に選択できます。
■システム部材の排気アタッチメント（P-60MA4）をご使用になる場合は左排気ができません。

1 据付け前の準備

本体を据付ける前にダクト配管・壁補強の準備をします。



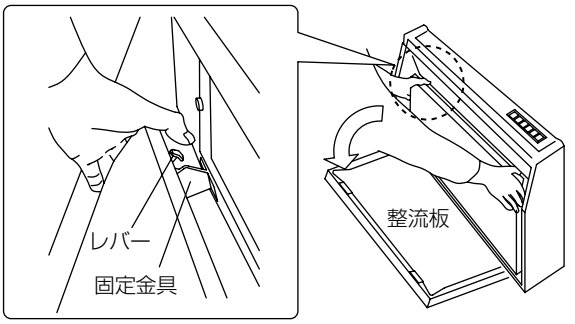
1 据付け場所を確認する。
- 製品を固定する壁は左図の位置に製品を支える強度のある下地があることを確認してください。
（製品質量は機種により異なります。質量は取扱説明書を参照してください。）
- 木材の場合は 20 ㎜以上の厚さが必要です。

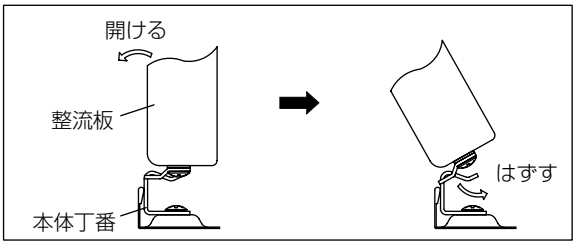
2 天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天吊用穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）2 本を埋め込む。

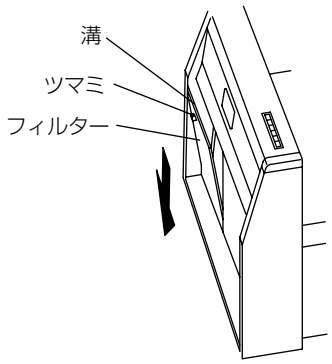
3 壁穴をあけてその中にφ 150 のダクト（鋼板管・スパイラルダクト）を配管し、その周囲の仕上げを行う。

お願い
- 据付け部には十分強度をもたせてください。
（据付け部が弱いと、振動・騒音の原因になります）

本体を据付ける前に整流板・フィルターを取りはずします。







1 両手で整流板をしっかり支える。

2 指で固定金具のレバーを下げ、整流板を固定金具からはずす。

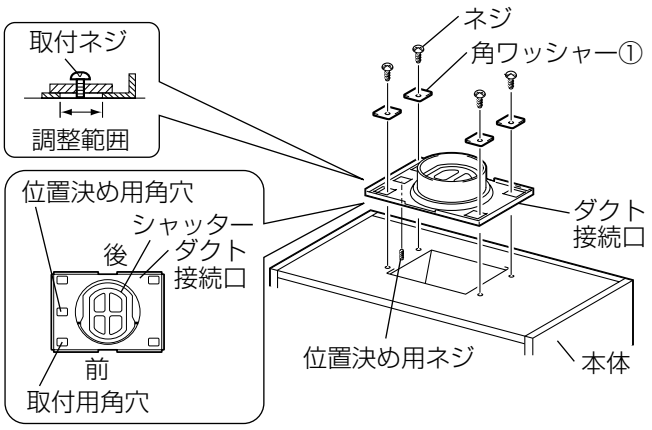
3 整流板を両手で支えたまま、手前にゆっくり倒す。

4 整流板を開き、本体丁番から整流板をはずす。

5 フィルターのツマミをしっかり持つ。

6 ツマミを矢印の方向へ押し下げ、溝からフィルターをはずす。

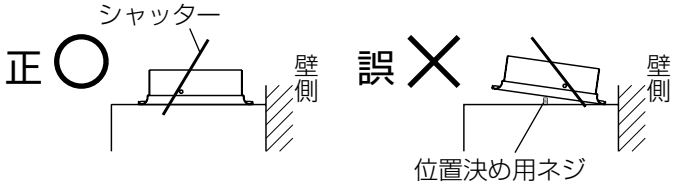
2 ダクト接続口を仮取付けする



●図のように必ず位置決め用角穴と位置決め用ネジを合わせて取付ける。

お願い

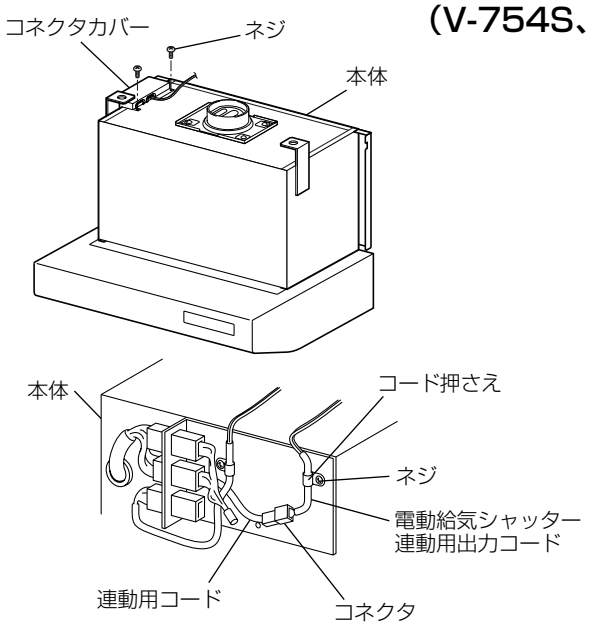
●ダクト接続口の取付け方向に注意してください。
反対向きには取付けられません。
（下図を参照してください）



●ダクト接続口の取付用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ・角ワッシャー①（各４個）で仮取付けする。

3 電動給気シャッター連動出力コードの取付け

（V-754S、V-904S で連動給気シャッターを使用する場合のみ）



1 連動給気シャッターを使用する場合は別売の「電動給気シャッター連動出力コード（形名：P-60QC）」が必要です。

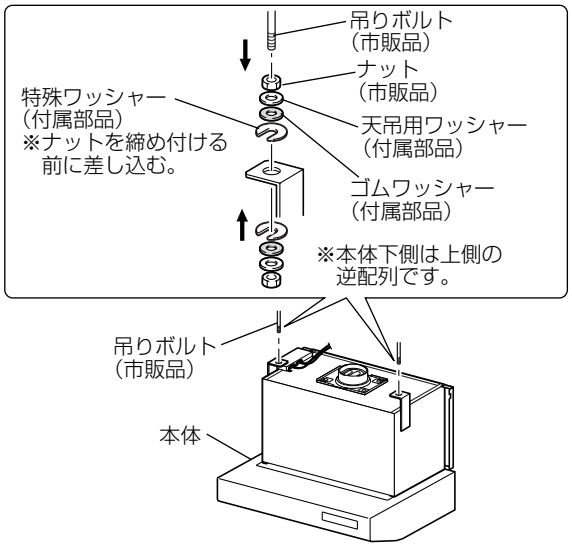
2 ネジ２本をはずしてコネクタカバーをはずす。

3 本体から出ている連動用コードのコネクタと電動給気シャッター連動出力コードのコネクタを接続する。

4 本体に付いているネジをはずして電動給気シャッター連動用出力コードのコード押さえをはずしたネジで固定する。

5 コネクタカバーを元の位置に取付け、はずしたネジで固定する。

4 本体の天井/壁への据付け



■天井据付け

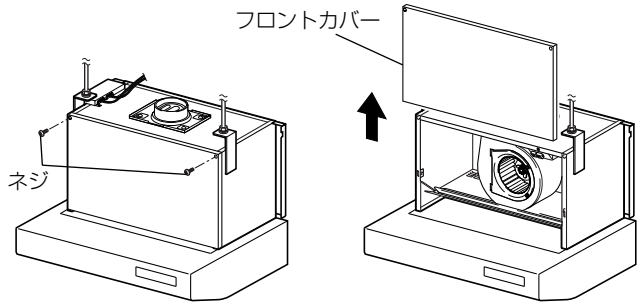
（BL タイプで左右いずれかに壁がある場合）

1 吊りボルトにナット（市販品４個）と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャー（各４個）を取付ける。

2 本体を吊りボルトに吊し、付属の特殊ワッシャー（４個）を差し込む。

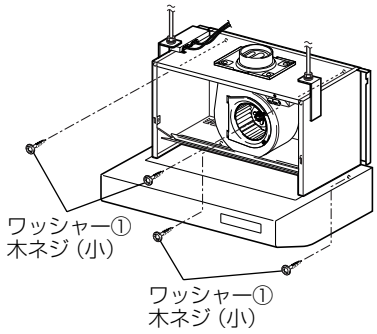
3 左図のように付属の特殊ワッシャー、ゴムワッシャー、天吊用ワッシャーを介してナット（市販品）で仮固定する。
●本体が水平に据付けられているか確認してください。

据付方法 つづき



4 フロントカバーのネジをはずす。

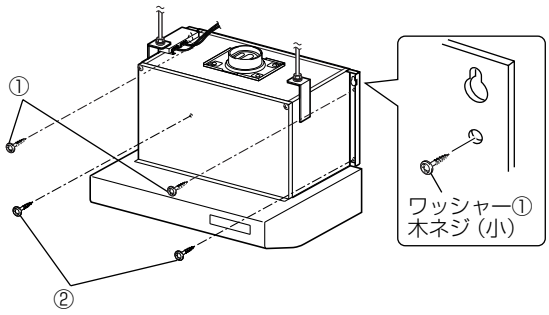
5 フロントカバーを上にスライドし、取りはずす。



6 付属の木ネジ（小）（4本）とワッシャー①（4個）で本体の内側から壁へ固定する。

7 フロントカバーを取付ける。

8 天吊ボルトのナットを締め付ける。

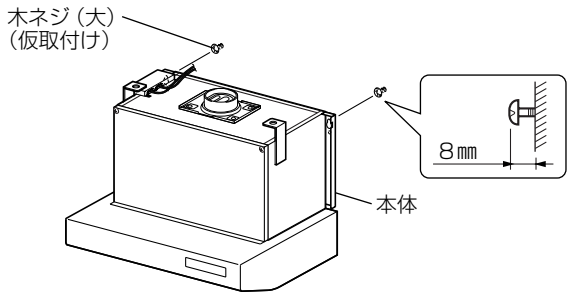


■天井据付け（BLタイプで左右に壁がない場合 V-754S、V-904S）

1 天吊ボルトに固定する。
- 固定方法は「左右いずれかに壁がある場合」と同じです。

2 付属のネジで本体の外側から壁へ固定する。
BLタイプの場合
：①、②：木ネジ（小）（4本）、ワッシャー①（4個）
上記以外の場合
：①木ネジ（大）（2本）、ワッシャー①（2個）
②木ネジ（小）（2本）、ワッシャー②（2個）

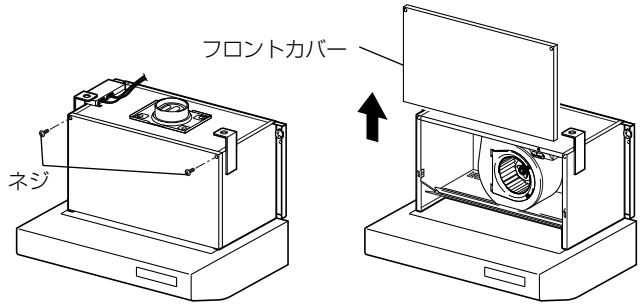
3 天吊ボルトのナットを締め付ける。



■壁据付けの場合
（BLタイプで左右いずれかに壁がある場合）

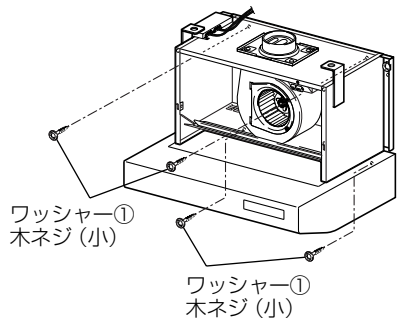
1 仮止穴位置（外形寸法図に明記）に付属の木ネジ（大）を図のように仮取付けする。（2か所）
- 壁面に下穴をあけてから木ネジを締め付けてください。

2 本体を木ネジ（大）に引掛ける。



3 フロントカバーのネジをはずす。

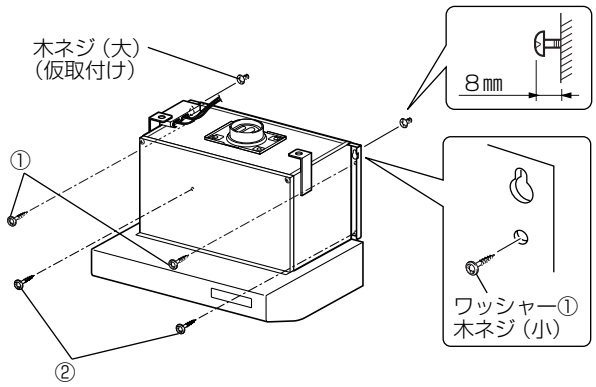
4 フロントカバーを上にスライドし、取りはずす。



5 付属の木ネジ（小）（4本）とワッシャー①（4個）で本体の内側から壁へ固定する。

6 フロントカバーを取付ける。

7 仮止め用ネジを締め付ける。



■壁据付け（BLタイプで左右に壁がない場合 V-754S、V-904S）

1 壁に取付けた仮止め用ネジに製品を引掛ける。

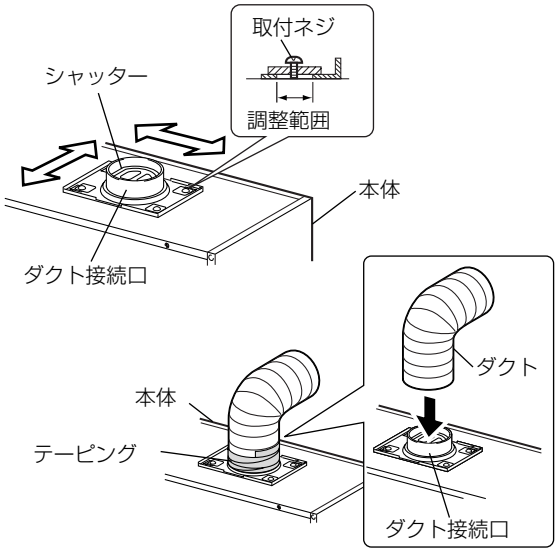
2 傾きのないように付属のネジで本体の外側から壁へ固定する。

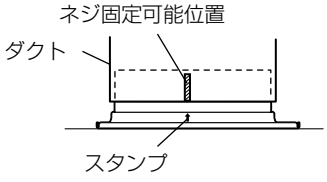
BLタイプの場合
：①、②：木ネジ（小）（4本）、ワッシャー①（4個）

上記以外の場合
：①木ネジ（大）（2本）、ワッシャー①（2個）
②木ネジ（小）（2本）、ワッシャー②（2個）

3 仮止め用ネジを締め付ける。

5 ダクト工事





●ダクトをネジで接続する場合は、ダクト接続口のスタンプの位置より20㎜上の箇所に長さ10㎜以下のネジで固定してください。

1 ダクト接続口取付位置の調整
- あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口とにずれがでた場合はダクト接続口の取付ネジをゆるめて調整範囲でずらし、ダクトと合わせる。

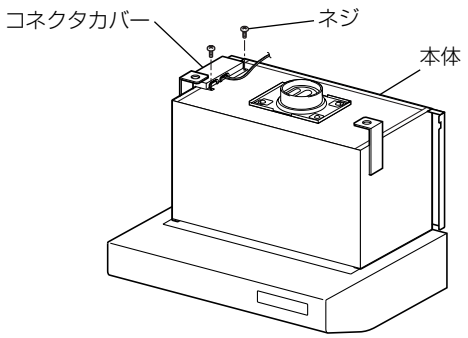
2 取付ネジを締め付け、ダクト接続口をしっかり固定する。

3 ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングする。

お願い
- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテーピングしてください。
- ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。
- シャッターがダクトに接触しないように取付してください。異常音発生や製品性能が得られないことがあります。

据付方法 つづき

6 電気工事



■壁スイッチタイプの場合
（機種名にSWが付く機種）

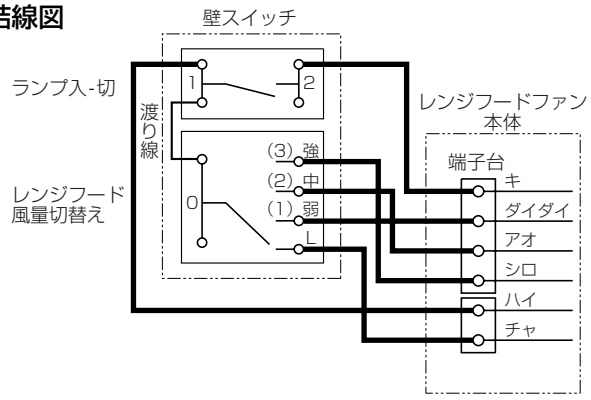
1 ネジ２本をはずしてコネクタカバーをはずす。

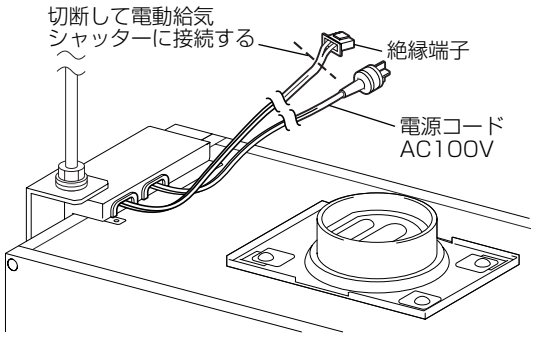
2 結線図に従い壁スイッチに結線する。

3 コネクタカバーを元の位置に取付け、はずしたネジで固定する。

4 電源プラグをコンセントに差し込む。

■結線図

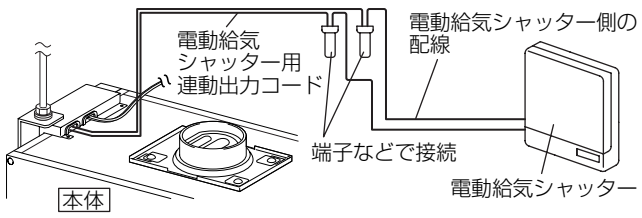




■本体スイッチタイプの場合

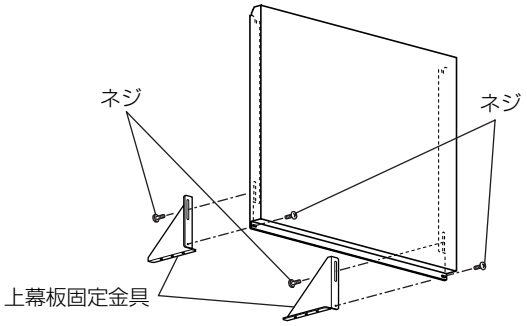
1 アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。（V-754S、V-904Sの場合）

2 電動給気シャッターを使用する場合は、電動給気シャッター用連動出力コード先端の絶縁端子を切断して電動給気シャッター側の配線と接続する。
（V-6037S-BL、V-6047S-BL、V-754S、V-904Sの場合）



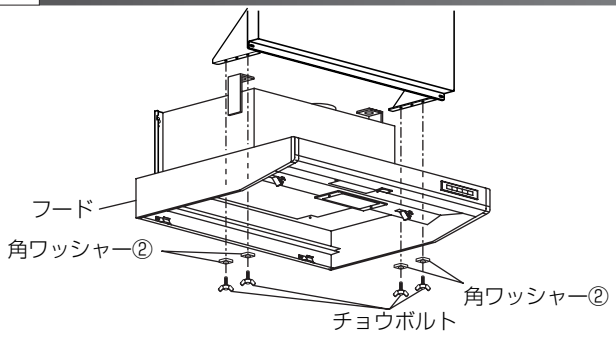
3 電源プラグをコンセントに差し込む。

7 上幕板固定金具の取付け



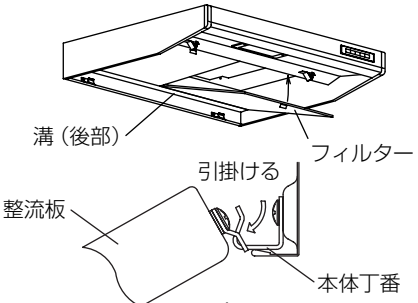
1 上幕板に付属のネジ（４本）で上幕板固定金具を取付ける。
- 上幕板固定金具の向きに注意してください。

8 上幕板の取付け

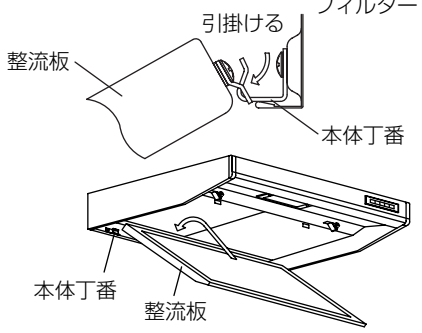


1 フードに付属のチョウボルト（４個）、角ワッシャー②（４個）で上幕板固定金具を固定する。
- チョウボルト、角ワッシャー②はフードの内側から取付けてください。

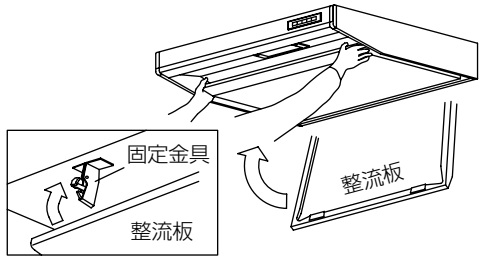
9 整流板の取付け



1 フィルターを取付ける。
- フィルターを後部の溝にはめ込み、押しながら手前の溝にはめてください。



2 フードの本体丁番に整流板を引掛ける。



3 整流板を両手で支えてゆっくり起こし、フードの固定金具で整流板を固定する。
- 片手で整流板の中央を持ち、軽く下に引いてはずれないことを確認してください。

据付け後の確認

■据付終了後、チェック表にしたがって点検します。不具合があった場合は必ず直してください。
(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

⚠警告 **ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。**
感電の原因。

〈チェック表〉

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付後の確認	本体は確実に固定されていますか？	本体を確実に固定します	
	ランプはゆるんでいませんか？	ランプを確実に取付けます	
	電圧は 100V ですか？	100V に直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	4P プラグのコンセント側の配線は正しいですか？	配線を正しくやり直します (誤配線があると下記のような現象が発生します)	

■誤配線があると、下記の現象が発生します。電気工事の図にしたがって配線をやり直してください。
レンジフード本体内には誤配線時に動作して本体の破損を保護する素子（PTC サーミスタ）が内蔵されております。誤配線時に配線経路に過電流が流れると動作し、一度動作した素子は復帰に約 60 秒ほど必要です。
※給気シャッターは消費電力：始動時 40W 以下、開放時 16W 以下のものをご使用ください。なお、電動給気シャッター以外は接続しないでください。

〈誤配線時の不具合現象〉
4P プラグのコンセント側［電源線（電圧側）、電源線（接地側）、シャッター電源］の配線を確認してください。所定の場所以外に配線されますと下記のような不具合現象が発生します。

	スイッチの状態	現　象	配線不具合箇所（電気工事の図参照）
1	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯	シャッター電源と電源線（電圧側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン、給気シャッターしばらく動作して停止	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン・給気シャッター動作するがしばらくしてランプ不点灯、ファン、給気シャッター停止	
2	ランプスイッチ単独ON	ランプ点灯	電源線（電圧側）と電源線（接地側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン正常動作、給気シャッター不動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン正常動作、給気シャッター不動作	
3	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯、給気シャッター正常動作	シャッター電源と電源線（接地側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン不動作、給気シャッター正常動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ不点灯、ファン不動作、給気シャッター正常動作 (配線経路に過電流が流れ保護素子が1秒以内で働きます)	
4	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯	シャッター電源に電源線（電圧側）、電源線（電圧側）に電源線（接地側）、電源線（接地側）にシャッター電源が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン不動作、給気シャッター不動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ不点灯、ファン・給気シャッター不動作 (配線経路に過電流が流れ保護素子が1秒以内で働きます)	
5	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯、給気シャッター動作	シャッター電源に電源線（接地側）、電源線（電圧側）にシャッター電源、電源線（接地側）に電源線（電圧側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン動作するが、しばらくして停止し、それと同時に給気シャッターが動作する。	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン動作するが、しばらくしてランプ不点灯、ファン停止し、それと同時に給気シャッターが動作する。	

■試運転の後は本体の保護のため、保護材で本体を覆ってください。その他内装工事が残っている場合に、保護材を用いることで、天井や壁などの内装工事用の接着剤や塗料が付着して本体が汚損するのを防ぎます。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、再生紙を使用しています。

据付け後の確認

■据付終了後、チェック表にしたがって点検します。
不具合があった場合は必ず直してください。
(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

〈チェック表〉

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付後の確認	本体は確実に固定されていますか？	本体を確実に固定します	
	ランプはゆるんでいませんか？	ランプを確実に取付けます	
	電圧は 100V ですか？	100V に直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	4P プラグのコンセント側の配線は正しいですか？	配線を正しくやり直します (誤配線があると下記のような現象が発生します)	

■誤配線があると、下記の現象が発生します。電気工事の図にしたがって配線をやり直してください。
レンジフード本体内には誤配線時に動作して本体の破損を保護する素子（PTC サーミスタ）が内蔵されております。
誤配線時に配線経路に過電流が流れると動作し、一度動作した素子は復帰に約 60 秒ほど必要です。
※給気シャッターは消費電力：始動時 40W 以下、開放時 16W 以下のものをご使用ください。
なお、電動給気シャッター以外は接続しないでください。

〈誤配線時の不具合現象〉
4P プラグのコンセント側［電源線（電圧側)、電源線（接地側)、シャッター電源］の配線を確認してください。所定の場所以外に配線されますと下記のような不具合現象が発生します。

	スイッチの状態	現　　象	配線不具合箇所（電気工事の図参照）
1	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯	シャッター電源と電源線（電圧側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン、給気シャッターしばらく動作して停止	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン・給気シャッター動作するがしばらくしてランプ不点灯、ファン、給気シャッター停止	
2	ランプスイッチ単独ON	ランプ点灯	電源線（電圧側）と電源線（接地側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン正常動作、給気シャッター不動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン正常動作、給気シャッター不動作	
3	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯、給気シャッター正常動作	シャッター電源と電源線（接地側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン不動作、給気シャッター正常動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ不点灯、ファン不動作、給気シャッター正常動作（配線経路に過電流が流れ保護素子が 1 秒以内で働きます）	
4	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯	シャッター電源に電源線（電圧側）、電源線（電圧側）に電源線（接地側）、電源線（接地側）にシャッター電源が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン不動作、給気シャッター不動作	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ不点灯、ファン・給気シャッター不動作（配線経路に過電流が流れ保護素子が 1 秒以内で働きます）	
5	ランプスイッチ単独ON	ランプ不点灯、給気シャッター動作	シャッター電源に電源線（接地側）、電源線（電圧側）にシャッター電源、電源線（接地側）に電源線（電圧側）が入れ替わって配線されています。
	風量切換スイッチ単独ON	ファン動作するが、しばらくして停止し、それと同時に給気シャッターが動作する。	
	ランプ、風量切換スイッチ同時ON	ランプ点灯、ファン動作するが、しばらくしてランプ不点灯、ファン停止し、それと同時に給気シャッターが動作する。	

この説明書は、再生紙を使用しています。